

《到達目標》

衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切さに気付くようにする。

製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身に付け、自分の身の回りの生活に活用できるようにする。  
自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。

学習計画(総授業時間数 60時間)

| 期    | 単元                  | 学習内容  |
|------|---------------------|---|
| 前期   | ・ 家庭科の学習を生活に生かそう    | ・ 家庭の仕事を見つめよう<br>・ できる仕事をふやそう                                       |
|      | ・ 見つめよう 家庭生活        | ・ ごはんをたいてみよう<br>・ 工夫して仕事を続けよう                                       |
| 30時間 | ・ 料理って楽しいね<br>おいしいね | ・ 1日の食事を調べよう<br>・ 簡単な調理をしよう<br>・ なぜ食べるのか考えよう                        |
| 後期   | ・ ぬって 使って<br>楽しい生活  | ・ 暮らしの中の布製品を探そう<br>・ つくり方を調べよう<br>・ 楽しくつくってたくさん使おう                  |
|      | ・ 工夫しよう<br>かっこいい生活  | ・ 身の回りの物を見直そう<br>・ 身の回りをきれいにしよう<br>・ 不用になったものを生かそう<br>・ 品物の買い方を考えよう |

《評価の観点》

《家庭生活への関心・意欲・態度》

衣食住や家庭生活について関心を持ち、家族の一員として、家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとする。

《生活を創意工夫する能力》

衣食住や家庭の生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して、家庭生活をよりよくするために自分なりに工夫したりする。

《生活の技能》

生活的な自立の基礎として必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技能を身に付けている。

《家庭生活についての知識・理解》

家庭生活を支えているものや大切さを理解し、衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身に付けている。



《評価の方法》

- ・ 活動の様子の観察、発表、ノート、テストなど。
- ・ 自己評価、相互評価など。

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

学習プリントや学習ノートを使って、内容の定着を図ります。  
基礎的・基本的な知識・技術を確実に身に付けるため、実践的・体験的な学習を重視します。  
家庭の協力を得て、日常生活や長期休業中の家庭生活で実践できるようにします。

《到達目標》

衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切さに気付くようにする。

製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身に付け、自分の身の回りの生活に活用できるようにする。

自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。

学習計画(総授業時間数 55時間)

| 学期 | 単元  | 学習内容  |
|----|---|---|
| 前期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活時間を見直してみよう</li> <li>見直そう、毎日の食事</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>どんな食べ物を食べているのかな</li> <li>ごはんともそしるをつくろう</li> <li>おかずの必要性を考えよう</li> </ul>                  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>つくろう、さわやか生活</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>暑い季節を気持ちよく過ごそう</li> <li>衣服の着方を考えよう</li> <li>衣服の手入れをしよう</li> <li>生活に役立つものをつくろう</li> </ul> |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>まかせてね、きょうのごはん</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物の組み合わせを考えよう</li> <li>家族の喜ぶお弁当をつくろう</li> <li>楽しい食事を工夫しよう</li> </ul>                    |
| 後期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>工夫しよう、季節に合う暮らし</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>季節に合う暮らしを考えよう</li> <li>快適な住み方をくふうしよう</li> </ul>  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>伝えよう、ありがとうの気持ち</li> <li>これからの生活の向けて</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>できるようになったことを振り返ろう</li> <li>家族へ地域へふれあいを広げよう</li> <li>わたしの気持ちを伝えよう</li> </ul>              |

《評価の観点》

《家庭生活への関心・意欲・態度》

衣食住や家庭生活について関心を持ち、家族の一員として、家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとする。

《生活を創意工夫する能力》

衣食住や家庭の生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して、家庭生活をよりよくするために自分なりに工夫したりする。

《生活の技能》

生活的な自立の基礎として必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技能を身に付けている。

《家庭生活についての知識・理解》

家庭生活を支えているものや大切さを理解し、衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身に付けている。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、発表、ノート、テストなど。
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

学習プリントや学習ノートを使って、内容の定着を図ります。

基礎的・基本的な知識・技術を確実に身に付けるため、実践的・体験的な学習を重視します。

家庭の協力を得て、日常生活や長期休業中の家庭生活で実践できるようにします。